

# 都市再生整備計画(第3回変更)

府中駅・府中本町駅周辺地区

とうきょうと ふちゅうし  
東京都 府中市

令和8年2月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	東京都	市町村名	府中市	地区名	府中駅・府中本町駅周辺地区	面積	62.29 ha
計画期間	令和5年度	～	令和9年度	交付期間	令和年度	～	令和年度

目標
大目標 中心市街地活性化ビジョンに位置付ける中心市街地地域の活性化と回遊性のあるまちづくりの実現
小目標① 府中駅周辺地区の道路空間や広場空間を充実させることによる当該地区のにぎわいの創出
小目標② 国史跡武蔵国府跡(国司館地区)を活用することによるにぎわいと魅力ある空間の創出
小目標③ 新庁舎通り庭地区を活用することによる、人の活気にあふれる空間の創出
目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況
【まちづくりの経緯】
○府中市中心市街地活性化基本計画(平成28年に国から認定)にて中心市街地地域を設定
○当該地区は、中心市街地地域の中でも、特に本市の玄関的な役割を果たしている。
○中心市街地地域は、古くは武蔵国の国府が置かれ、政治、経済及び文化の中心地として栄えてきた場所である。鎌倉・室町時代には六所宮を中心として信仰の拠点となり、また、江戸時代には甲州街道の宿場町「府中宿」として、明治時代以降には郡役所が置かれ、多摩地域の中心として発展してきた。
○平成3年度には、本市の主要駅である京王線府中駅が連続立体交差事業により高架化された。
○同駅南口では、第一種市街地再開発事業により、老朽化した木造建築物や狭あい道路が解消され、良好な商業環境が整備された。市街地再開発事業により整備した商業施設には、再開発前から立地していた商店に加え、シネマコンプレックス等が入居しており、市内外から多くの買い物客が訪れる拠点となっている。
○当該地区周辺の商業施設や商店会等により、多くのイベントが開催されている。
○平成28年12月には、中心市街地地域におけるエリアイベント事業や回遊性創出事業を手掛ける「一般社団法人まちづくり府中」が設立され、核となるにぎわいを創出することで活性化を実現するとともに、その効果を市全体に波及させていくための担い手として活動している。
○令和2年1月に、一般社団法人まちづくり府中を都市再生推進法人として指定
○令和6年4月に、一般社団法人まちづくり府中の後継団体として「株式会社まちづくり府中」が設立。同月に株式会社まちづくり府中を都市再生推進法人として指定
○現在は、令和4年から令和12年までを計画期間とする府中市中心市街地活性化ビジョンに基づき、継続して中心市街地の活性化に取り組んでいる。
【現況】
○けやき並木通り及びペDESTリアンデッキにて、令和6年3月1日から民間事業者の主催イベントの開催が可能となる公共空間活用事業を開始し、更なる活用を進めている。
○国史跡武蔵国府跡(国司館地区)は、平成23年に国史跡武蔵国府跡の追加指定を受け、保存・活用を進めている。平成30年には、国史跡の歴史的価値を高めるエリアとして、第1期整備事業による広場の供用を開始した。現在は、第2期整備事業として、「歴史的価値を高め広く発信するとともに、駅前という立地をいかしたにぎわいと魅力ある空間を創出すること」を目的として、整備を進めている。また、令和4年度からは、整備と合わせて、にぎわいの創出を目的とした広場の活用に取り組んでいる。
○府中市新庁舎建設事業において、令和5年8月に新庁舎「おもや」が完成し、供用を開始した。また、令和8年9月から新庁舎「通り庭」の、令和9年1月から新庁舎「はなれ」の供用を開始する。

## 課題

- 効果的な活用を促進するため、道路や広場使用に係る手続を簡素化し、使用者の負担を軽減する必要がある。
- 中心市街地のにぎわい創出及び日常的な来訪者を増やすために、道路空間や広場空間の更なる活用が求められる。
- 府中駅と府中本町駅の周辺におけるにぎわいを連携させ、回遊性の向上を図る必要がある。

## 将来ビジョン(中長期)

### ①第7次府中市総合計画(令和4年度～令和11年度)(令和3年度策定)

- ・けやき並木の公共空間が広く民間事業者等に活用され、多様な人々が憩い、交流する空間として機能することで、魅力やにぎわいを創出する。
- ・都市再生推進法人である株式会社まちづくり府中を中心として民間事業者等によるけやき並木の空間を活用したイベントの開催などを通じ、中心市街地のにぎわいの創出や商業の活性化を図る。
- ・にぎわいの創出に向け、中心市街地活性化ビジョンに基づく各種取組を展開する。
- ・国史跡武蔵国府跡(国司館地区)は、本市の歴史と伝統を代表する場所として、にぎわいと魅力のあるまちづくりを行うため、適切な保存とともに積極的な活用を行う。
- ・府中駅と府中本町駅の周辺のにぎわいをつなぐ新庁舎「通り庭」等を整備、活用することにより、新庁舎の基本理念である「市民に親しまれ、府中らしさを受け継ぐまちづくりの拠点となる庁舎」の実現を目指す。

### ②府中市中心市街地活性化ビジョン(令和4年度～令和12年度)(令和3年度策定)

【府中市中心市街地活性化の基本理念】 地域資源を生かし、人が集い交流する持続可能な「府中らしい」中心市街地の追求

- ・地域資源をいかしたにぎわいと回遊性のあるまちづくり
- ・多様な主体が連携した一体感のあるまちづくり
- ・時代の変化に呼応する持続可能なまちづくり

### ③都市再生推進法人である株式会社まちづくり府中との連携により、オープンカフェの実施や食事・購買イベントの実施等、当該地区の活性化と魅力を向上させるための道路空間や広場空間の有効活用について検討を行い、回遊性の向上及びにぎわいの創出を図る。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	東京都	市町村名	府中市	地区名	府中駅・府中本町駅周辺地区	面積	62.29 ha
計画期間	令和5年度～令和9年度	交付期間	令和5年度～令和9年度				

<b>目標</b> 大目標 中心市街地活性化ビジョンに位置付ける中心市街地地域の活性化と回遊性のあるまちづくりの実現 小目標① 府中駅周辺地区の道路空間や広場空間を充実させることによる当該地区のにぎわいの創出 小目標② 国史跡武蔵国府跡(国司館地区)を活用することによるにぎわいと魅力ある空間の創出 小目標③ 新庁舎通り庭地区を活用することによる、人の活気にあふれる空間の創出							
<b>目標を定量化する指標</b>							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
府中駅周辺地区の来訪者数	人/日	GPSを用いた人流分析ツールによって取得した、けやき並木通りに休日(土日祝)に15分以上滞在した人数の1日当たりの平均値	にぎわいの創出や魅力の向上により、来訪者が増加することを目標とする。	15,800人/日 ※1	R6	17,700人/日	R9
府中駅周辺地区の活用日数	日/年	けやき並木通りにおいて食事・購買イベント等が実施された日数	食事・購買イベント等の実施日数を、当該地区のにぎわい創出に係る評価指標とする。	59日/年	R6	62日/年	R9
府中駅周辺地区の活用日数	日/年	府中スカイナード(ペDESTリアンデッキ)において食事・購買イベント等が実施された日数	食事・購買イベント等の実施日数を、当該地区のにぎわい創出に係る評価指標とする。	65日/年	R6	68日/年	R9
国史跡武蔵国府跡(国司館地区)の活用日数	日/年	国史跡武蔵国府跡(国司館地区)において、食事・購買イベント等が実施された日数	食事・購買イベント等により広場が活用された日数を、当該地区のにぎわい創出に係る評価指標とする。	2日/年	R6	10日/年	R8
新庁舎通り庭地区の活用日数	日/年	新庁舎通り庭地区において食事・購買イベント等が実施された日数	食事・購買イベント等により広場が活用された日数を、当該地区のにぎわい創出に係る評価指標とする。	0日/年	R6	48日/年	R9

※1 データ提供元:株式会社データワイズ

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・府中駅周辺地区のにぎわいを創出する道路活用等の推進</p> <p>けやき並木通り及び府中スカイナード(ペDESTリアンデッキ)等にて、都市再生推進法人の管理において、道路空間や広場空間を活用し、にぎわいの創出を図る。</p>	<p>【基幹事業】 中心市街地活性化ビジョン推進事業  【協定制度等】 食事・購買イベント等の実施によるにぎわいの創出</p>
<p>・国史跡武蔵国府跡(国司館地区)の文化財としての価値の向上及びにぎわいを創出する広場活用の推進</p> <p>国史跡武蔵国府跡(国司館地区)にて、都市再生推進法人の管理において、広場空間を活用し、にぎわいの創出を図る。</p>	<p>【基幹事業】 中心市街地活性化ビジョン推進事業  【協定制度等】 食事・購買イベント等の実施によるにぎわいの創出</p>
<p>・新庁舎通り庭地区のにぎわいを創出する広場活用と回遊性の推進</p> <p>新庁舎「通り庭」にて、都市再生推進法人の管理において、広場空間を活用し、にぎわいの創出を図る。</p>	<p>【基幹事業】 中心市街地活性化ビジョン推進事業  【協定制度等】 食事・購買イベント等の実施によるにぎわいの創出</p>
その他	
<p>・都市再生推進法人に対する当該区域内の道路占用料については1/10に減額し、広場の使用料については全部免除する。</p> <p>・都市再生推進法人は、当該区域内の道路空間や広場空間を使用して実施する事業等が安全に実施されるように事業主催者等に対して、必要な指導・助言を行う。</p> <p>・事業主催者等は、当該区域で道路空間や広場空間を使用して実施する事業等について、安全に事業を実施するように都市再生推進法人の承認を得ること。</p> <p>・府中駅周辺地区の道路を使用して実施する次の事業については、本計画の対象外とする。</p> <p>(1) 大國魂神社が実施する祭事に係る事業</p> <p>(2) 市が主催する事業及び市が補助する団体・事業者に係る事業</p>	

## 協定制度等の取組

官民連携によるエリアマネジメント方針等					
事業		事業の目的/ 事業によって解決される課題	事業期間	事業主体(占用主体)	活用する制度
					制度別詳細4
					都市利便増進協定 (法第46条第25項)
1	食事・購買イベント等の実施によるにぎわいの創出 道路空間や広場空間を用いたイベント等を実施し、当該区域のにぎわいを創出するとともに、清掃・点検等の適切な維持管理を図る。	道路空間や広場空間を活用し、イベント等を実施することで、本市の中心市街地へ来街者を誘致し、まちのにぎわいを創出する。	R5～R9	株式会社まちづくり府中 (都市再生推進法人)	○

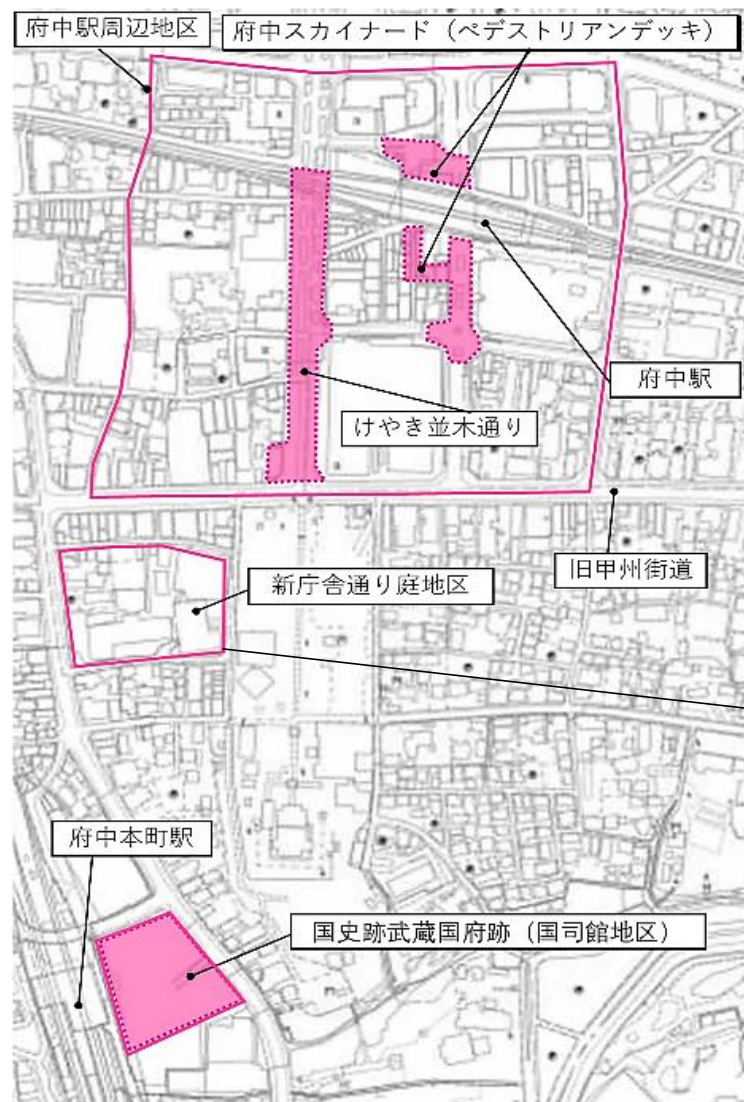
## 制度別詳細4(都市利便増進協定に関する事項)法第46条第25項

制度別詳細【都市利便増進協定】				
事業内容				制度の活用計画
事業内容		事業期間	取り組み主体	活用する制度の詳細
1	食事・購買イベント等の実施 によるにぎわいの創出	R5～R9	株式会社まちづくり府中(都市再生 推進法人)	1 協定締結者 株式会社まちづくり府中(都市再生推進法人)、府中市 2 都市利便施設の一体的な整備又は管理が必要と認められる区域(都市利便増進協定を想定している区域) 次ページ赤枠の範囲 3 協定の内容 (1)協定の目的となる都市利便増進施設 ・道路、府中スカイナード(ペDESTリアンデッキ)、市有地 ・国史跡武蔵国府跡(国司館地区) ・新庁舎「通り庭」 (2)費用負担 ・株式会社まちづくり府中が、中心市街地活性化ビジョン推進事業を実施し、その収益から経費を支出する。 (3)都市利便増進施設の整備・管理の方法 ・清掃・点検等、協定の内容に基づき協定締結者が協働して維持管理を実施する。

## 制度別詳細4－1(都市利便増進協定に関する事項)法第46条第25項

### 制度別詳細【都市利便増進協定】

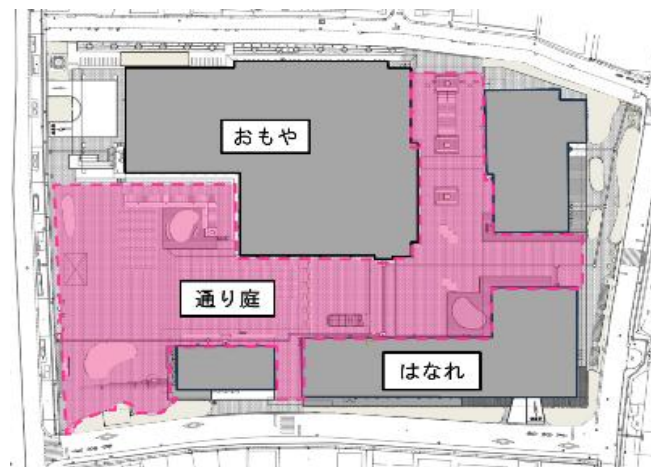
制度を活用して整備・設置する予定の施設等配置を示す地図及び設置イメージ



けやき並木通りの活用イメージ



国史跡武蔵国府跡(国司館地区)の活用イメージ



新庁舎通り庭地区における都市利便増進協定範囲

都市利便増進施設の一体的な整備  
又は管理が必要と認められる区域

食事・購買イベント等

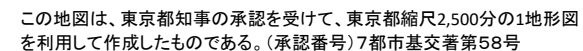
食事・購買イベント等の整備・管理

この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1地形図を利用して作成したものである。(承認番号)7都市基交著第58号



## 府中駅・府中本町駅周辺地区(東京都府中市)

区域 宮西町一丁目、宮西町二丁目、宮町一丁目の全部と寿町一丁目、寿町二丁目、府中町一丁目、府中町二丁目、本町一丁目、宮町二丁目、宮町三丁目の一部





府中駅・府中本町駅周辺地区（東京都府中市）整備方針概要図（中心市街地活性化ビジョン推進事業）

目 標	大目標 中心市街地活性化ビジョンに位置付ける中心市街地地域の活性化と回遊性のあるまちづくりの実現	代表的な指標	けやき並木通りにおいて食事・購買イベント等が実施された日数	日/年	59日/年	(R6年度)	→	62日/年	(R9年度)
	小目標① 府中駅周辺地区の道路空間や広場空間を充実させることによる当該地区にぎわいの創出		国史跡武蔵国府跡(国司館地区)の活用日数	日/年	2日/年	(R6年度)	→	10日/年	(R8年度)
	小目標② 国史跡武蔵国府跡(国司館地区)を活用することによるにぎわいと魅力ある空間の創出		新庁舎通り庭地区の活用日数	日/年	0日/年	(R6年度)	→	48日/年	(R9年度)
	小目標③ 新庁舎通り庭地区を活用することによる、人の活気にあふれる空間の創出								

